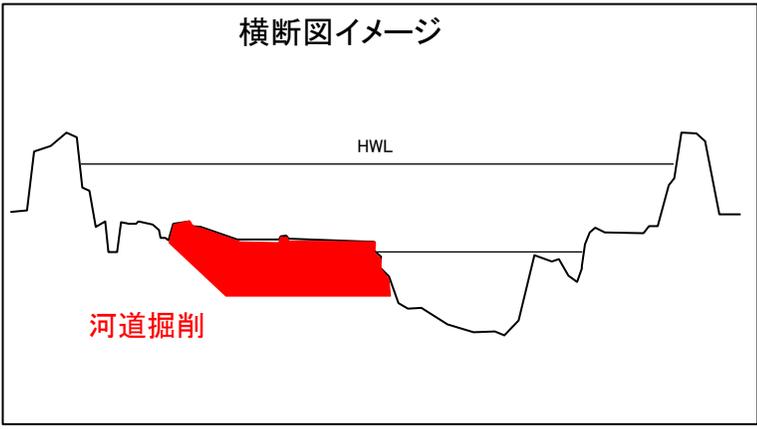
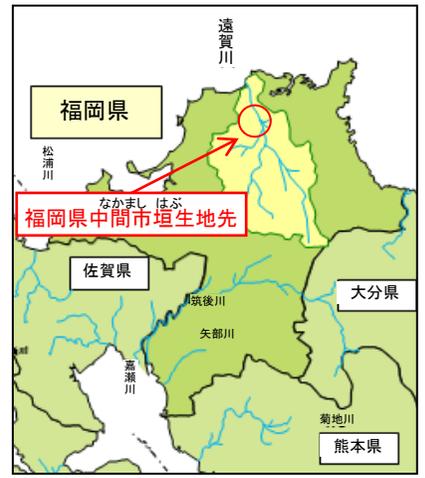


遠賀川下流掘削事業【直轄】

■遠賀川において、観測史上最高水位を記録した平成30年7月洪水を安全に流下させるため、遠賀川下流部の河道掘削に着手し、治水安全度の向上を図る。



事業費：2,052百万円

※遠賀川水系における直轄河川改修事業の令和5年度事業費を記載しております。

令和5年度実施内容
河道掘削 V=14千m3 等



平成30年7月洪水(中間出張所から遠賀川下流を望む)



おんががわ しょうしがわ
■遠賀川や支川庄司川において、平成30年7月豪雨で内水による浸水被害が発生。令和2年7月に「庄司川総合内水対策計画」を策定し、国、福岡県、飯塚市が連携して総合的な内水対策を推進。

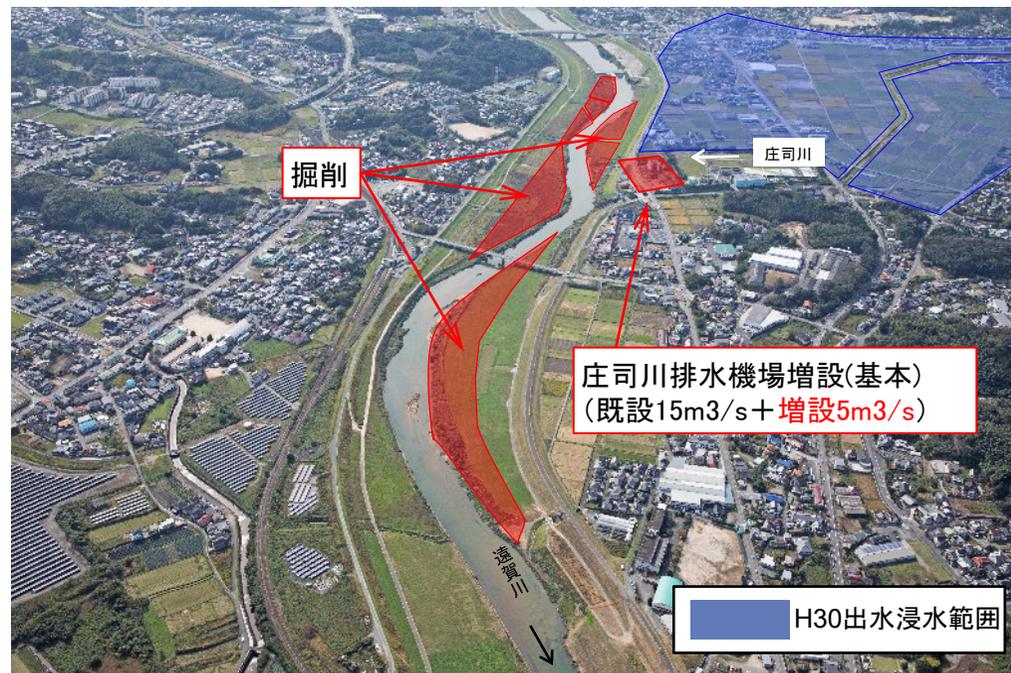
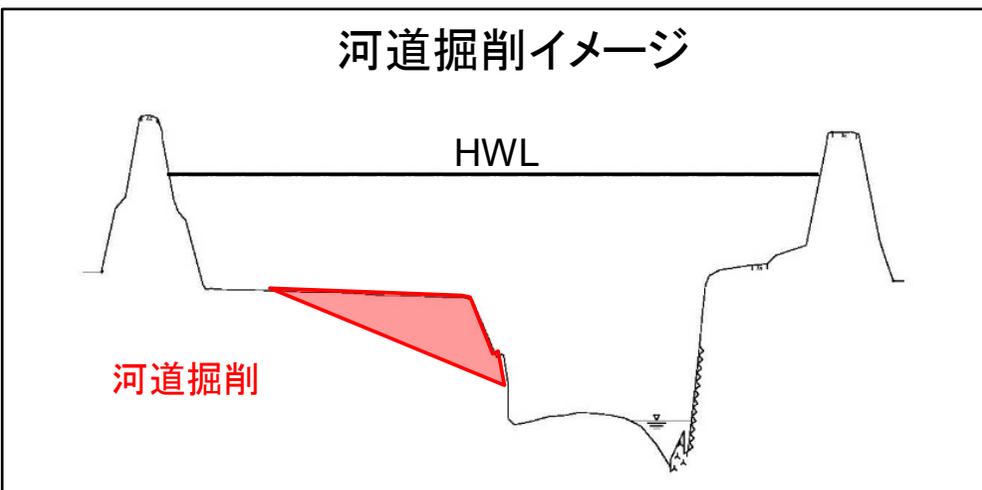
■継続して、遠賀川の河道掘削及び庄司川排水機場の増設を行い、浸水被害軽減を図る。



事業費：2,052百万円

※遠賀川水系における直轄河川改修事業の令和5年度事業費を記載しております。

■令和5年度実施内容
排水機場増設 一式
河道掘削 V=10千m³



■久留米市周辺では、平成30年、令和元年、令和2年、令和3年に4年連続で内水による浸水被害が発生。令和2年3月に「金丸川・池町川総合内水対策計画」を策定し、国、福岡県、久留米市が連携して総合的な内水対策を推進。

■古賀坂排水機場の整備を行うことにより、床上浸水被害の解消を図る。

■位置図



事業費：550百万円

■令和5年度実施内容
排水機場増強 1式

■平成30年7月洪水時の状況



■令和3年8月洪水時の状況



■金丸川・池町川総合内水対策計画(R2.3策定)



※各施設は、今後実施する詳細な調査や検討等の結果により、変わる可能性

筑後川水系ダム群連携事業【直轄】

■事業概要

○場 所 筑後川中流部(福岡県朝倉市外)
あさくらし
ちくごがわ ちくごがわ さたがわ こいしわらがわ
 (筑後川水系筑後川、佐田川、小石原川)

○目 的 流水の正常な機能の維持

○諸 元 導水延長 約10km

○経 緯 平成13年度 実施計画調査着手
 令和5年度 建設事業着手予定

○事業効果 都市用水の優先的な確保等により不足している流水の正常な機能の維持のための用水を確保し、既得用水の安定化、河川環境の保全を図る。

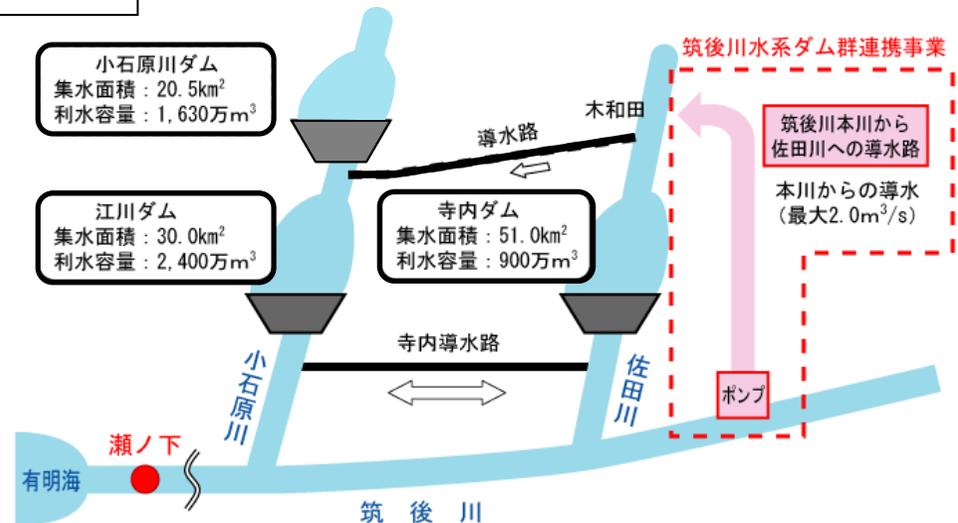
■令和5年度実施内容

導水施設詳細設計、用地調査、地質調査、
 水理水文調査、環境調査 等

事業費：61百万円※

※令和5年度内に国土交通省から水資源機構に事業承継を予定
 ただし、流量調査等国土交通省が継続的に実施している調査に
 ついては、令和6年度より水資源機構が承継

位置図



ちくごがわ やすらがわ
■筑後川の支川安良川において、令和3年8月洪水や気候変動の影響による災害の激甚化・頻発化に対応するため、堤防高が不足している箇所を築堤に着手し、治水安全度の向上を図る。



事業費：3,648百万円

※筑後川水系における直轄河川改修事業の令和5年度事業費を記載しております。

■令和5年度実施内容
用地取得 A=0.8ha
水路移設 一式



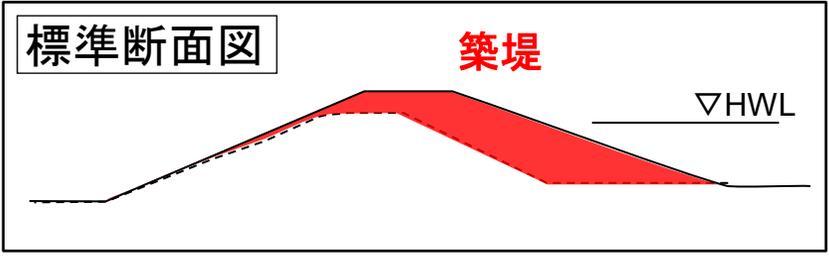
横断図(イメージ)

▽HWL

新産業集積エリア



■ 嘉瀬川尼寺地区において、平成22年7月洪水での浸水被害や気候変動の影響による災害の激甚化・頻発化に対応するため、築堤、掘削・樹木伐採を行うことで、治水安全度の向上を図る。

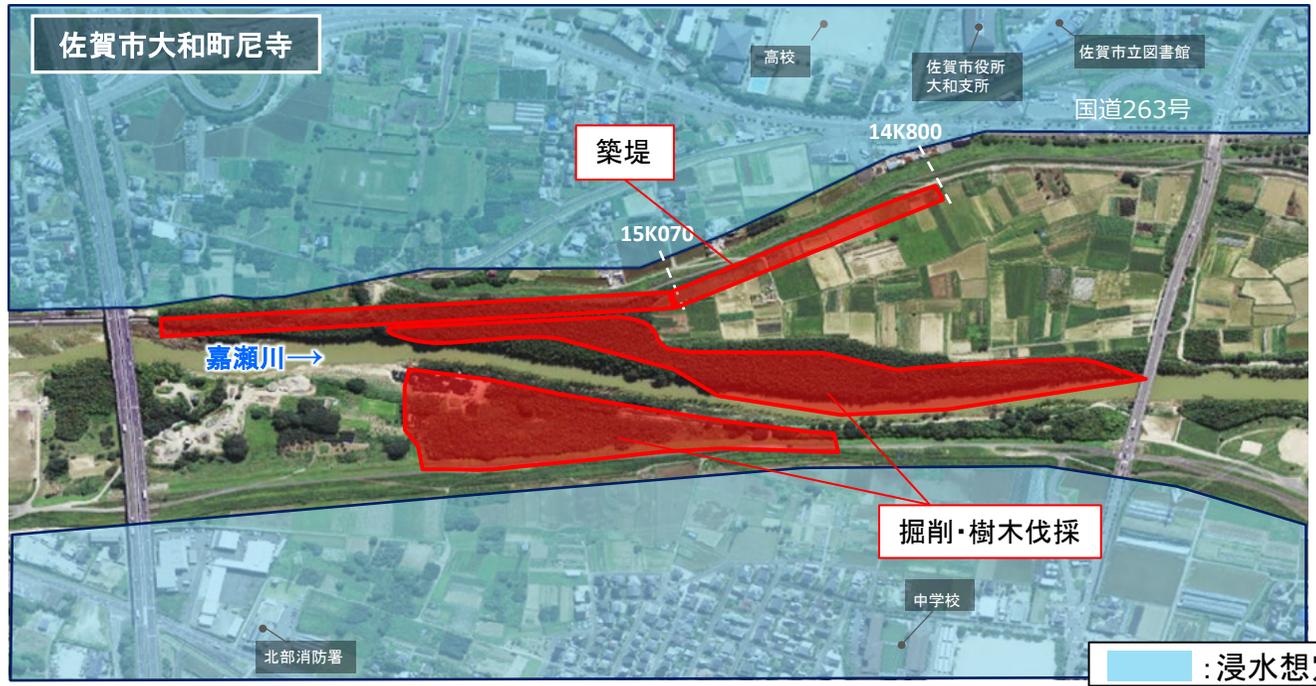


事業費：335百万円

※嘉瀬川水系における直轄河川改修事業の令和5年度事業費を記載しております。

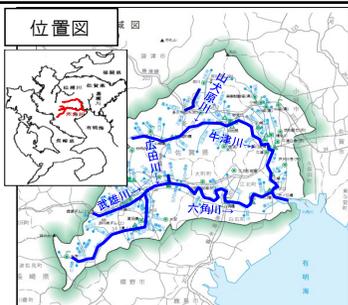
■ 令和5年度実施内容
築堤 L=270m

H22.7.14 浸水被害



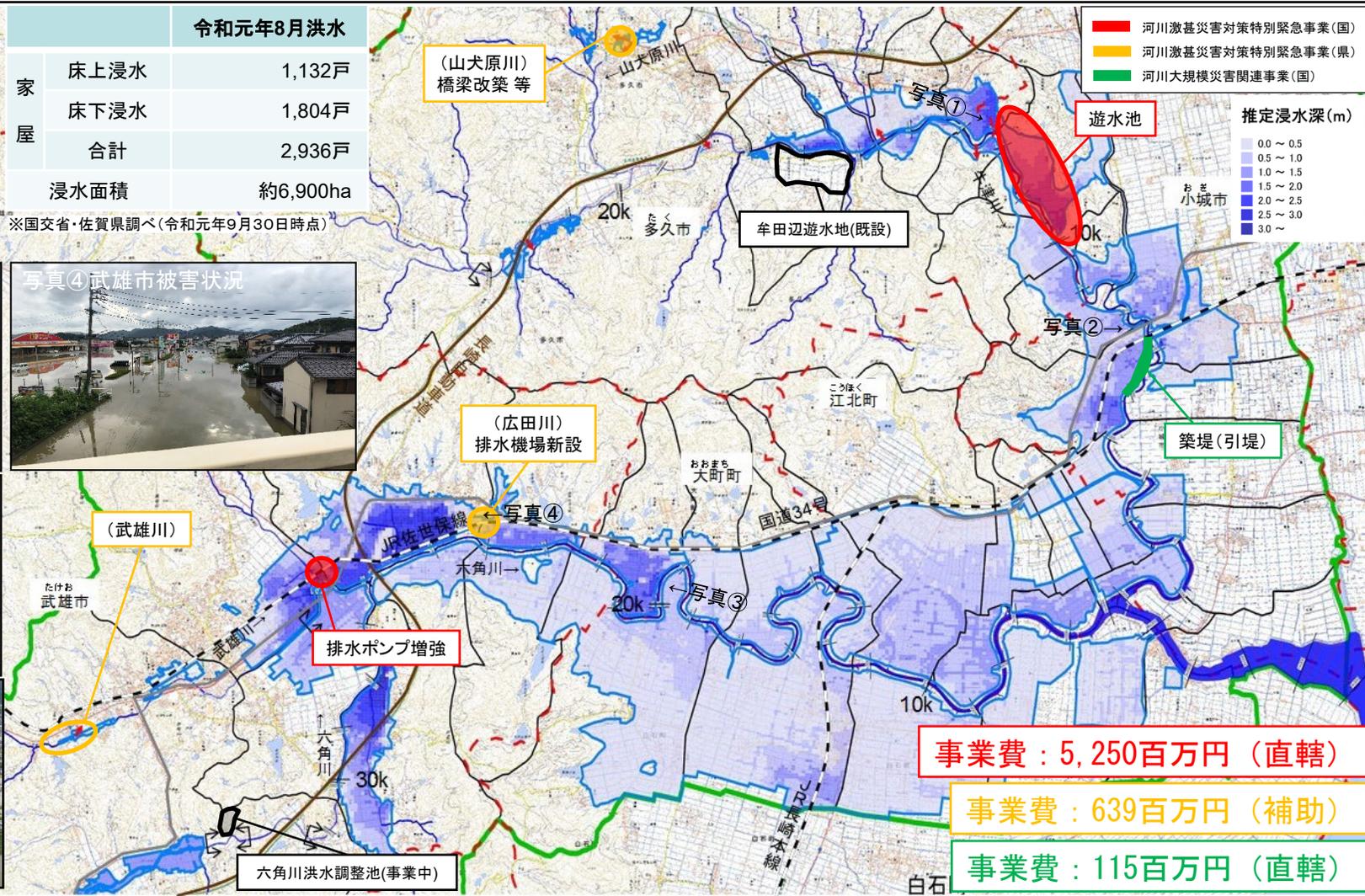
令和元年8月豪雨では、六角川水系牛津川で観測史上最高水位を記録し、堤防からの越水、支川や水路からの氾濫により、六角川水系において甚大な被害が発生。

本事業を実施することにより、六角川水系において浸水被害軽減を図る。



		令和元年8月洪水
家屋	床上浸水	1,132戸
	床下浸水	1,804戸
	合計	2,936戸
浸水面積		約6,900ha

※国土省・佐賀県調べ(令和元年9月30日時点)



事業費：5,250百万円 (直轄)
 事業費：639百万円 (補助)
 事業費：115百万円 (直轄)

六角川水系牛津川 左岸 12k250
 写真①牛津川越水状況



【九州地図】はるかぜ
 写真②小城市街地浸水状況



写真③大町町被害状況



写真④武雄市被害状況



城原川ダム建設事業【直轄】

■事業概要

○場所 佐賀県かんざし神埼市ちくごがわ(筑後川水系城原川じょうばるがわ)

○目的 洪水調節

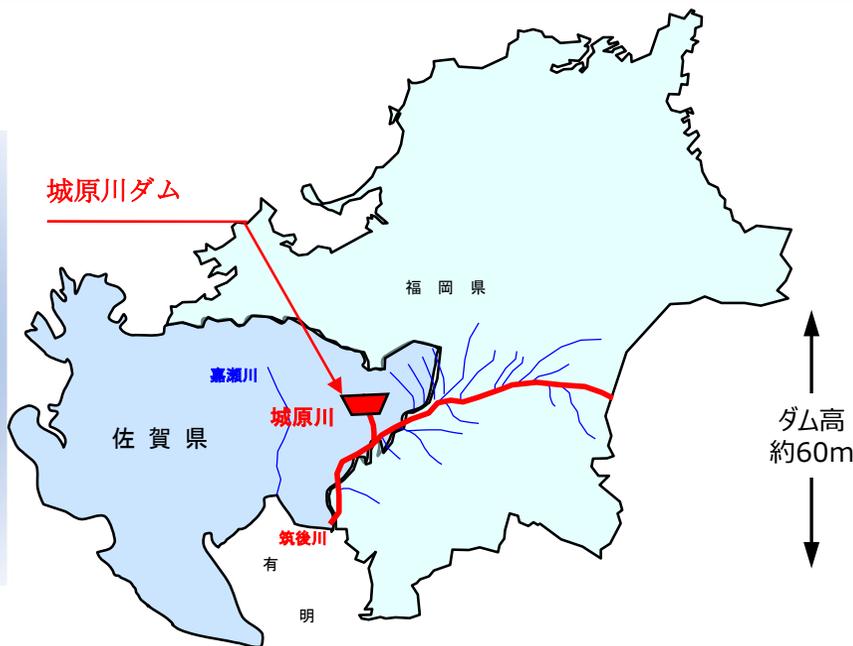
○諸元 堤高:約60m 総貯水容量:約3,550千m³

○経緯 昭和54年度 実施計画調査着手
平成30年度 建設事業着手

○事業効果 ダムによる洪水調節を行い、城原川ダム下流域の治水安全度の向上を図る。

◆洪水被害軽減を図る洪水調節専用のダム

位置図

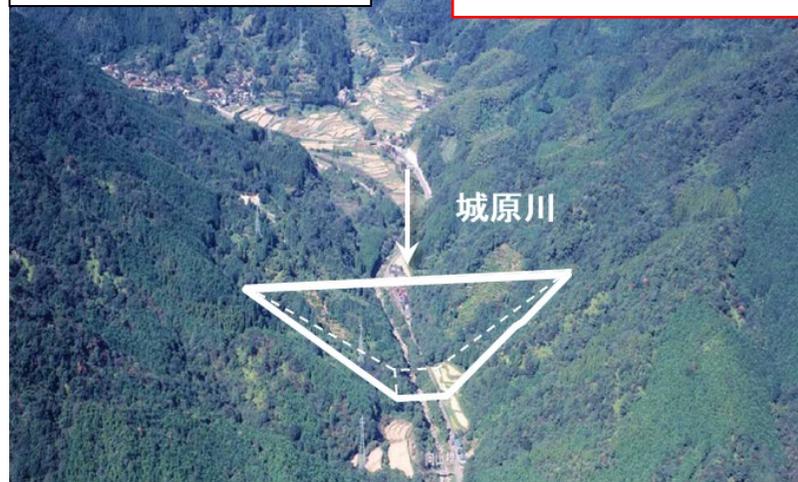


■令和5年度実施内容

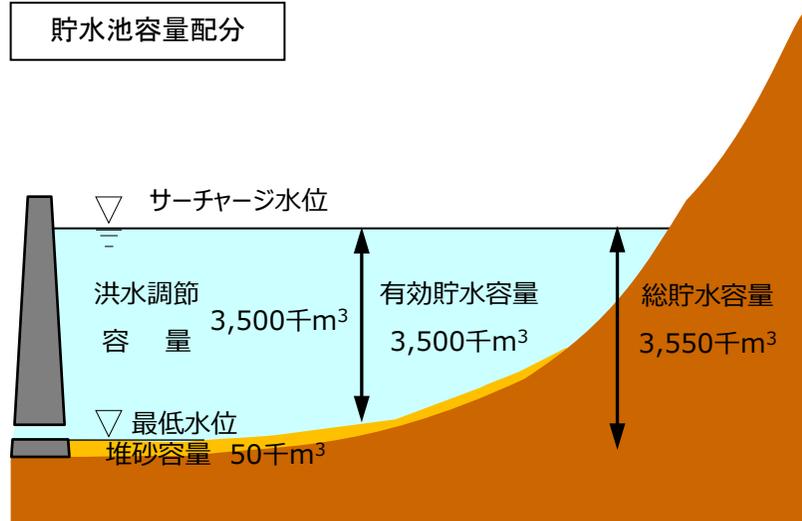
本体関連の調査・設計、用地調査
付替道路の調査・設計、工事用道路工事 等

城原川ダム完成イメージ

事業費：902百万円



貯水池容量配分



■事業概要

- 場所 いさはやし ほんみょうがわ ほんみょうがわ 長崎県諫早市(本明川水系本明川)
- 目的 洪水調節
流水の正常な機能の維持
- 諸元 堤高:約60.0m 総貯水容量:約6,200千m³
- 経緯 平成2年度 実施計画調査着手
平成6年度 建設事業着手

○事業効果 ダムによる洪水調節を行い、本明川ダム下流域の治水安全度の向上を図る。また、下流河川の環境を維持するための水量を確保し渇水被害の軽減を図る。

◆洪水被害と渇水被害の軽減を図るダム

■令和5年度実施内容

本体工事、付替道路工事、用地補償 等

事業費：4,252百万円

本明川ダム完成イメージ



位置図

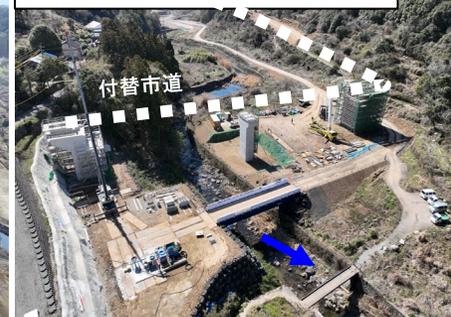
諸元



付替県道施工状況 (R5.2撮影)



付替市道施工状況 (R5.2撮影)



■雲仙直轄砂防管理事業(島原市、南島原市)

- 雲仙・普賢岳は、平成2年11月に噴火活動を再開し、噴火に伴う火砕流や土石流によって甚大な被害が発生。現在でも大量に土砂が堆積し、毎年のように土石流が発生している。また、山頂付近には溶岩ドームと呼ばれる巨大な岩塊群が形成され、崩落等の危険性が懸念されることから依然として警戒区域が設定されている。
- このため、除石や砂防施設修繕は無人化施工による高度な技術を用いて、管理を行う必要がある。

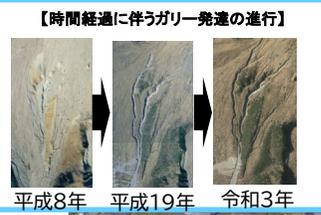


雲仙・普賢岳山麓の水無川流域の特殊性

赤松谷川上流で発生した土石流(H27年6月)

砂防管理実施区域

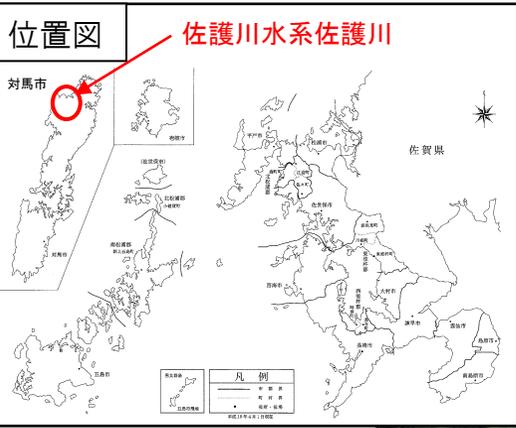
令和5年度
実施内容：除石工等



■佐護川水系佐護川大規模特定河川事業（対馬市）

佐護川水系佐護川は、令和元年9月の台風17号により、床下38戸、床上52戸の浸水のほか、国道や田畑の冠水など甚大な被害が発生した。

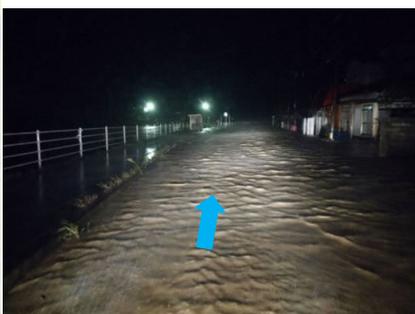
このため、大規模特定河川事業により、河道掘削等を集中的に実施し、早期に地域の安全性の向上を図る。



浸水状況（平成22年7月洪水）

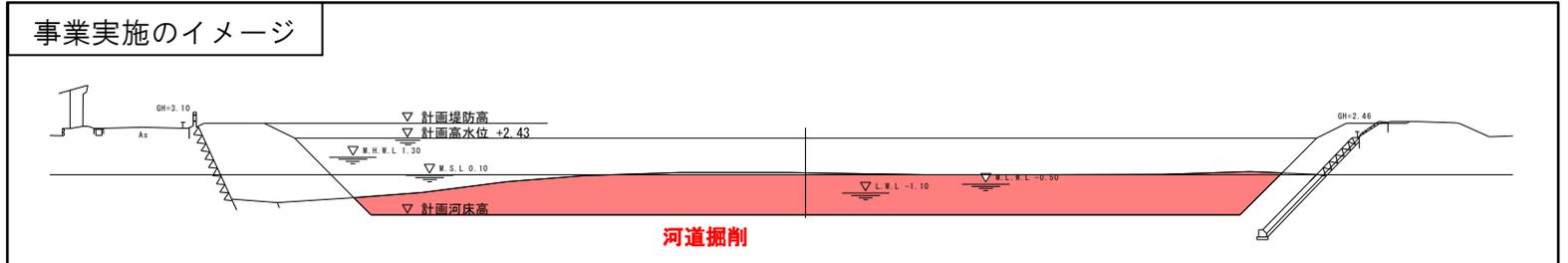


浸水状況（令和元年9月洪水）



令和5年度
実施内容：河道掘削等
事業費：200百万円

浸水戸数
令和元年9月洪水（台風17号）
・床下浸水38戸
・床上浸水52戸
・国道、市道冠水、田畑冠水など



■ 令和2年7月豪雨では記録的な降雨となり、球磨川流域では観測開始以来最高の雨量・水位を記録し、河川の氾濫等により、家屋の流出など甚大な被害を受けた。

■ 球磨川水系において浸水被害の軽減を図るために、令和5年度当初予算にて河道掘削、輪中堤・宅地かさ上げを実施。

令和2年7月豪雨【被害状況】

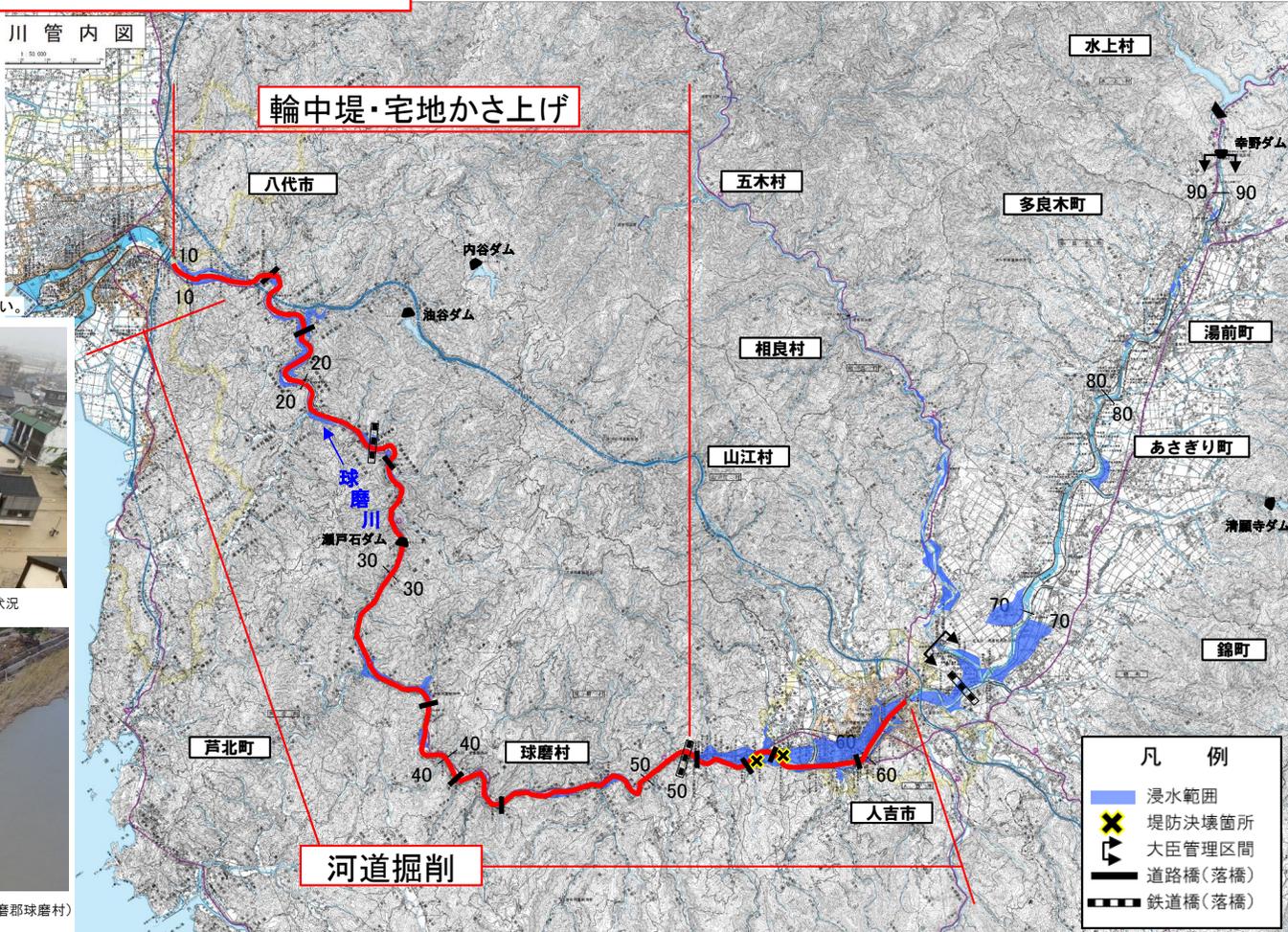
市町村名	浸水面積 (ha)	浸水戸数 (戸)
人吉市	約518	4,681
錦町	約290	約280
相良村 (柳瀬橋下流)	約90	約260
相良村 (柳瀬橋上流)	約130	約170
球磨村	約70	約290
八代市	約25	約520
あさぎり町	約20	約4
芦北町	約5	約70
合計※	約1,150	約6,280

※:浸水面積、戸数については、切り上げ等により合計と合わない。

事業費：1,035百万円

※球磨川水系における大規模災害関連事業の令和5年度当初予算の事業費を記載しております。

川管内図



▲球磨川(58.0k付近)における浸水被害状況(人吉市)



▲球磨川(61.4k付近)右岸の人吉市の浸水被害状況



▲球磨川156.4kの堤防決壊状況(人吉市)



▲球磨川(52.0k付近)における護岸の被害状況(球磨郡球磨村)

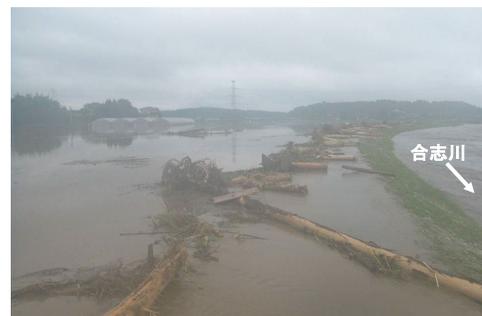
凡例

- 浸水範囲
- 堤防決壊箇所
- 大臣管理区間
- 道路橋(落橋)
- 鉄道橋(落橋)

■平成24年7月九州北部豪雨で堤防からの越水による家屋の浸水等、甚大な被害が発生した合志川において、河道掘削、築堤及び横断工作物の改築を実施してきており、山城堰の堰改築を行うことで、平成24年7月の九州北部豪雨と同規模の洪水氾濫による家屋浸水被害を解消するための一連工事が完了。



植木温泉街に流入する氾濫流
(山城堰下流右岸) H24.7.12



堤防上に残る流木
(山城堰上流右岸) H24.7.12

事業費：1,243百万円

※菊池川水系における直轄河川改修事業の令和5年度事業費を記載しております。

■令和5年度実施内容
堰改築 N=1基



山城堰改築状況(R5.2)



山城堰

舟島橋

平島堰

合志川

完成した舟島橋

立野ダム建設事業【直轄】

■事業概要

○場所 (右岸)熊本県阿蘇郡南阿蘇村
あそぐん みなみあそむら

(左岸) 菊池郡大津町(白川水系白川)
きくちぐん おおづまち しらかわ しらかわ

○目的 洪水調節

○諸元 堤高:約90m 総貯水容量:約10,100千m³

○経緯 昭和54年度 実施計画調査着手
 昭和58年度 建設事業着手

○事業効果 ダムによる洪水調節を行い、立野ダム下流域の治水安全度の向上を図る。

◆洪水被害軽減を図る洪水調節専用のダム

位置図



立野ダム完成イメージ

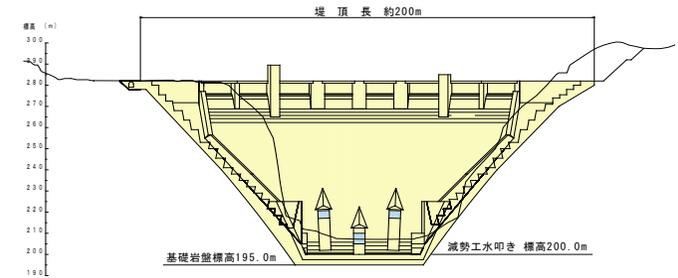


■令和5年度実施内容

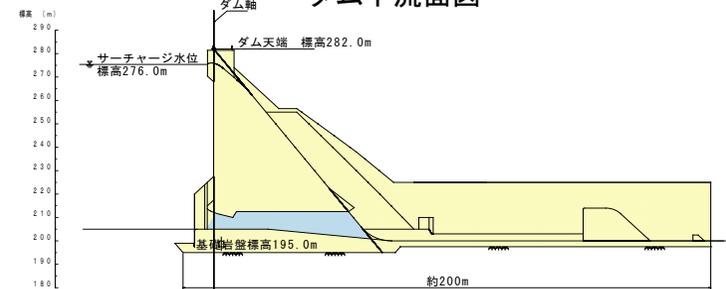
本体工事、管理用設備 等

事業費：10,588百万円

工事状況写真 (R5.2撮影)



ダム下流面図

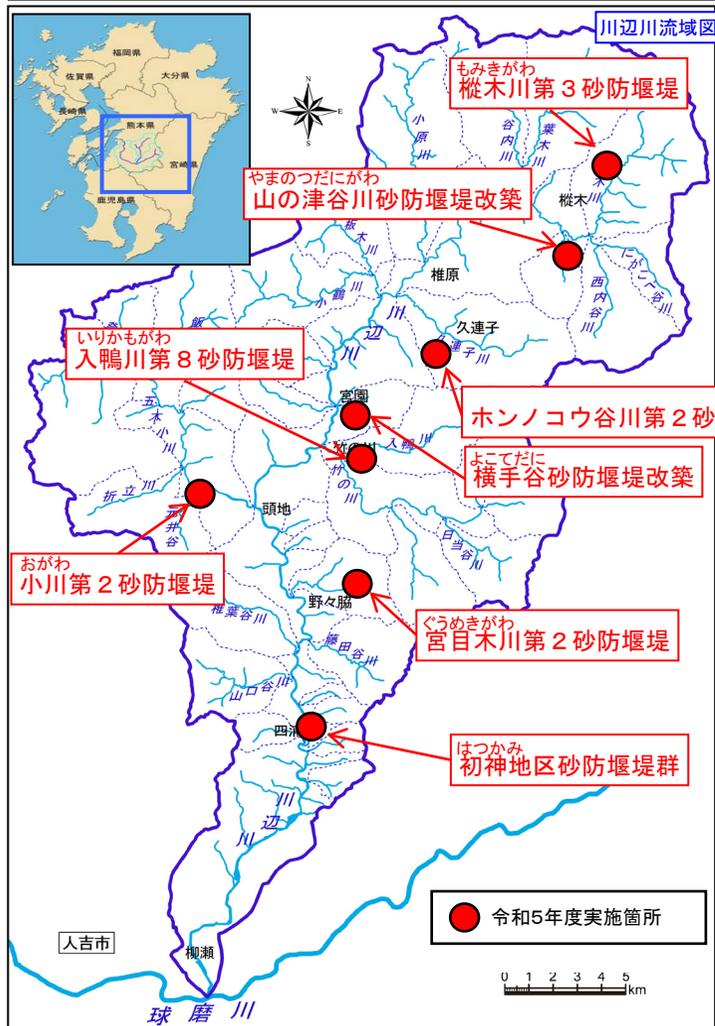


標準断面図

■球磨川水系(川辺川)直轄砂防事業(八代市泉町、球磨郡五木村、球磨郡相良村)

○川辺川流域は、急峻な地形、脆弱な地質条件を有しており、多雨地帯でもあることから、これまで頻繁に豪雨により土砂災害を引き起こしており、近年では平成24年に土石流が発生し大きな被害をもたらした。

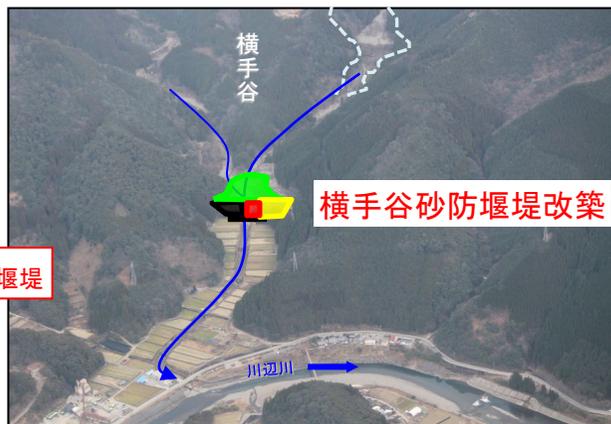
○土石流による直接的な土砂災害の防止や下流河川の河床上昇に伴う洪水被害の防止を図るため、砂防設備を整備中。



■代表実施箇所

令和5年度
実施内容：砂防堰堤工、用地買収 等

凡例	
	令和3年度以前
	令和4年度(当初)
	令和5年度(当初)
	令和6年度以降



: 土石流警戒区域

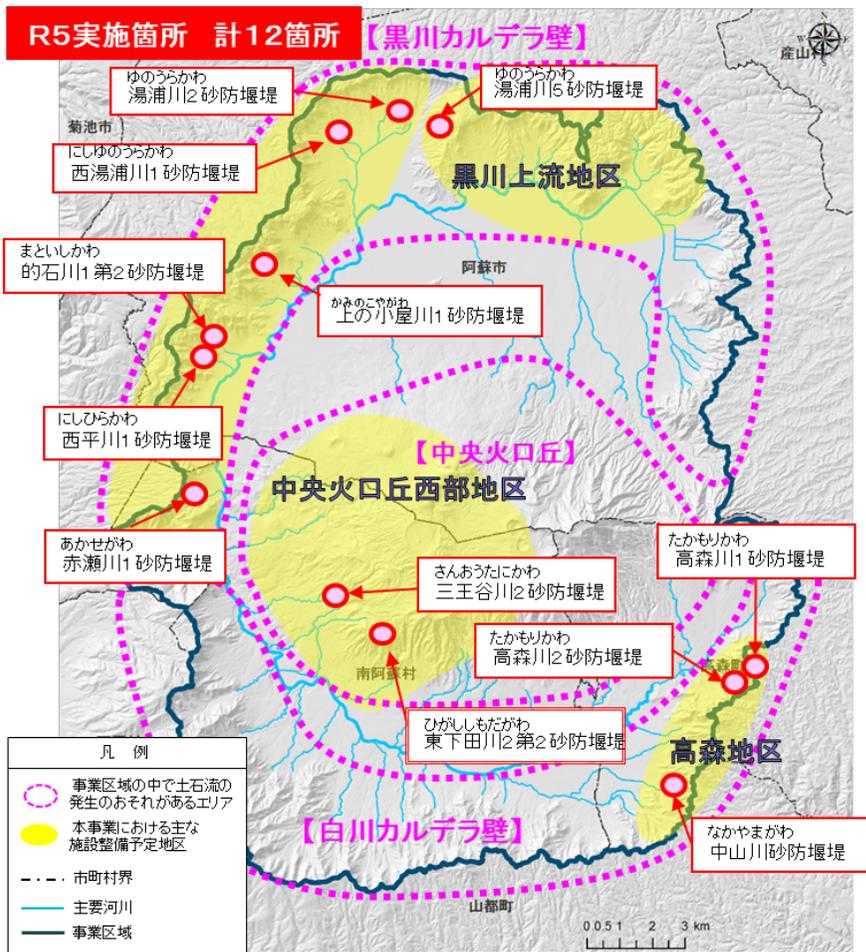
■阿蘇山直轄砂防事業(阿蘇市、高森町、南阿蘇村)

○事業区域(阿蘇カルデラ内)では、平成28年熊本地震とその後の豪雨により土砂災害が発生しており、事業区域の溪流及び河川には以前として不安定な土砂が堆積していることから、砂防堰堤等の整備を行い、集落等への直接的な被害を防止・軽減するとともに、下流河川に流出する土砂量を低減し、土砂洪水氾濫による被害を軽減する。

令和5年度

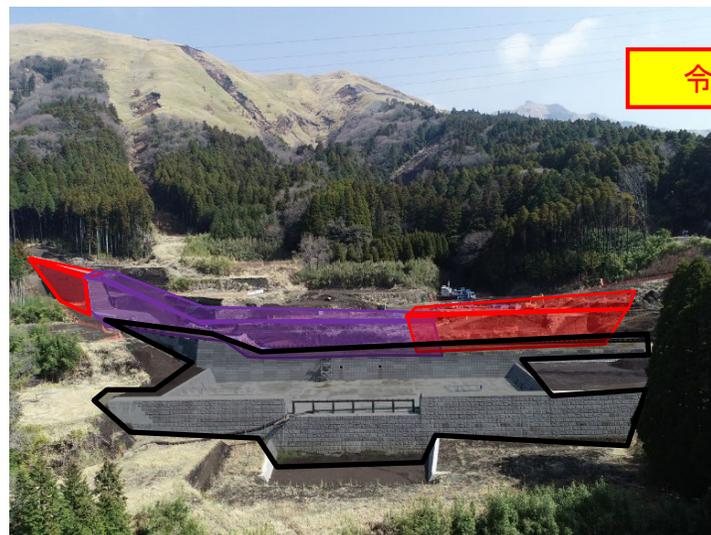
実施内容:砂防堰堤工、工事用道路等

R5実施箇所 計12箇所【黒川カルデラ壁】



■代表実施箇所

東下田川2砂防堰堤



令和5年度完成予定

凡例

	令和3年度以前
	令和4年度(当初)
	令和4年度(補正)
	令和5年度(当初)
	令和6年度以降

■大野川では、観測史上最大洪水である平成29年9月洪水等の影響により河床低下が進行しており、護岸等の構造物への安全性の確保が必要。

■このため、河道掘削、高水敷造成等による河床低下対策を実施することで、治水安全度の向上を図る。

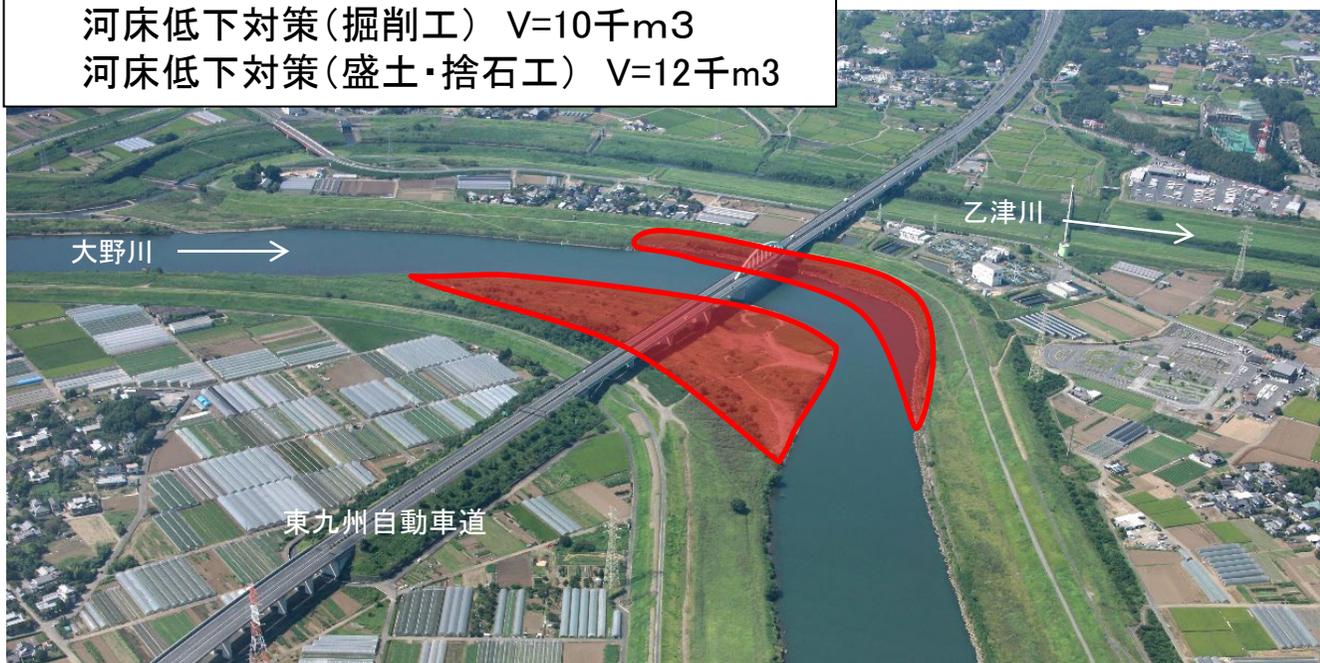
事業費：250百万円

大野川水系浸水想定区域図
(想定最大規模)

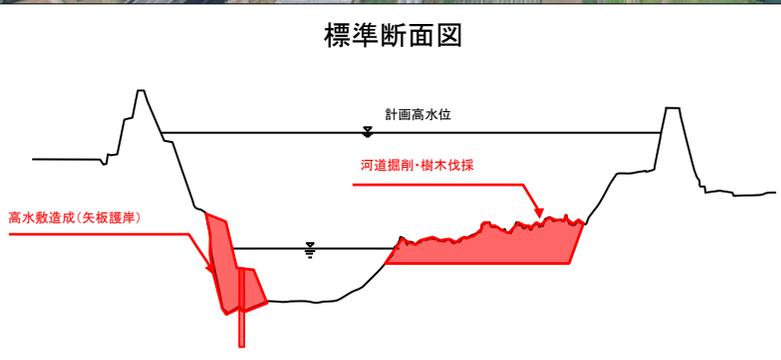
令和5年度実施内容

河床低下対策(掘削工) V=10千m³

河床低下対策(盛土・捨石工) V=12千m³



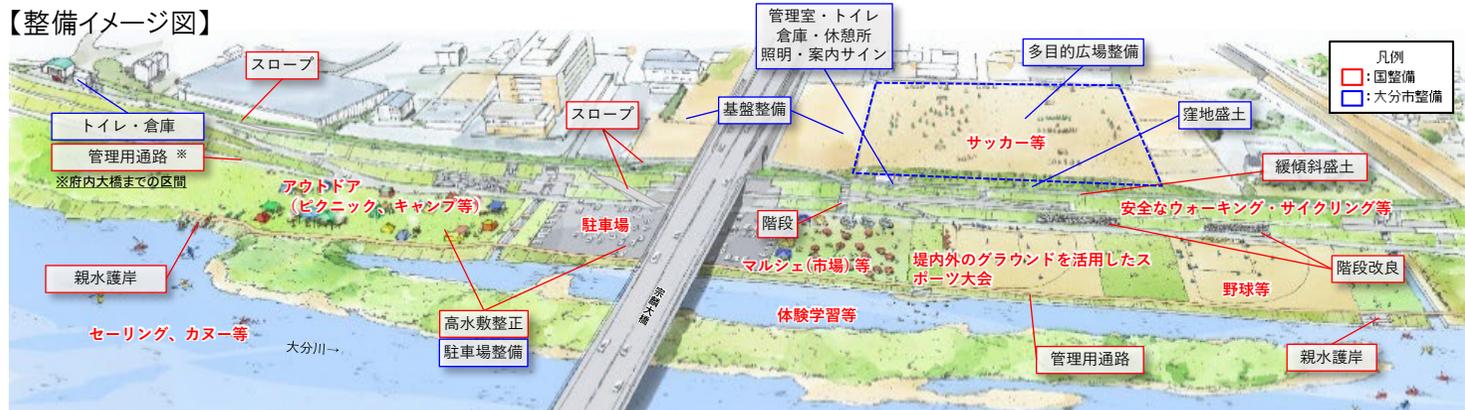
標準断面図



■ 大分川下流域地区では令和4年8月にかわまちづくり計画が登録され、サッカー等に利用可能な川裏の多目的広場の整備をはじめとしたまちづくりと河川空間を連携させることで、まちと河川が融合したスポーツ拠点等により賑わいある河川空間を創出し、地域の活性化を図る。



【整備イメージ図】

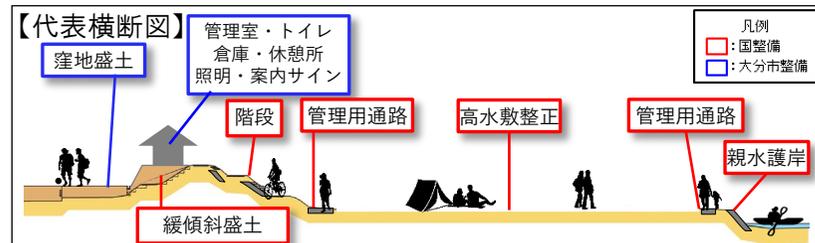


事業費：140百万円

※大分川水系における総合環境整備事業の令和5年度事業費を記載しております。

令和5年度実施内容
管理用通路、緩傾斜盛土

【代表横断面図】



管理用通路整備イメージ



緩傾斜盛土のイメージ

おおよどがわ

- 令和4年9月台風14号で大淀川流域で観測史上最高の水位を記録し、内水氾濫により甚大な浸水被害が発生。
- 遊水地整備を実施することで河道の流量を低減し、治水安全度の向上を図る。

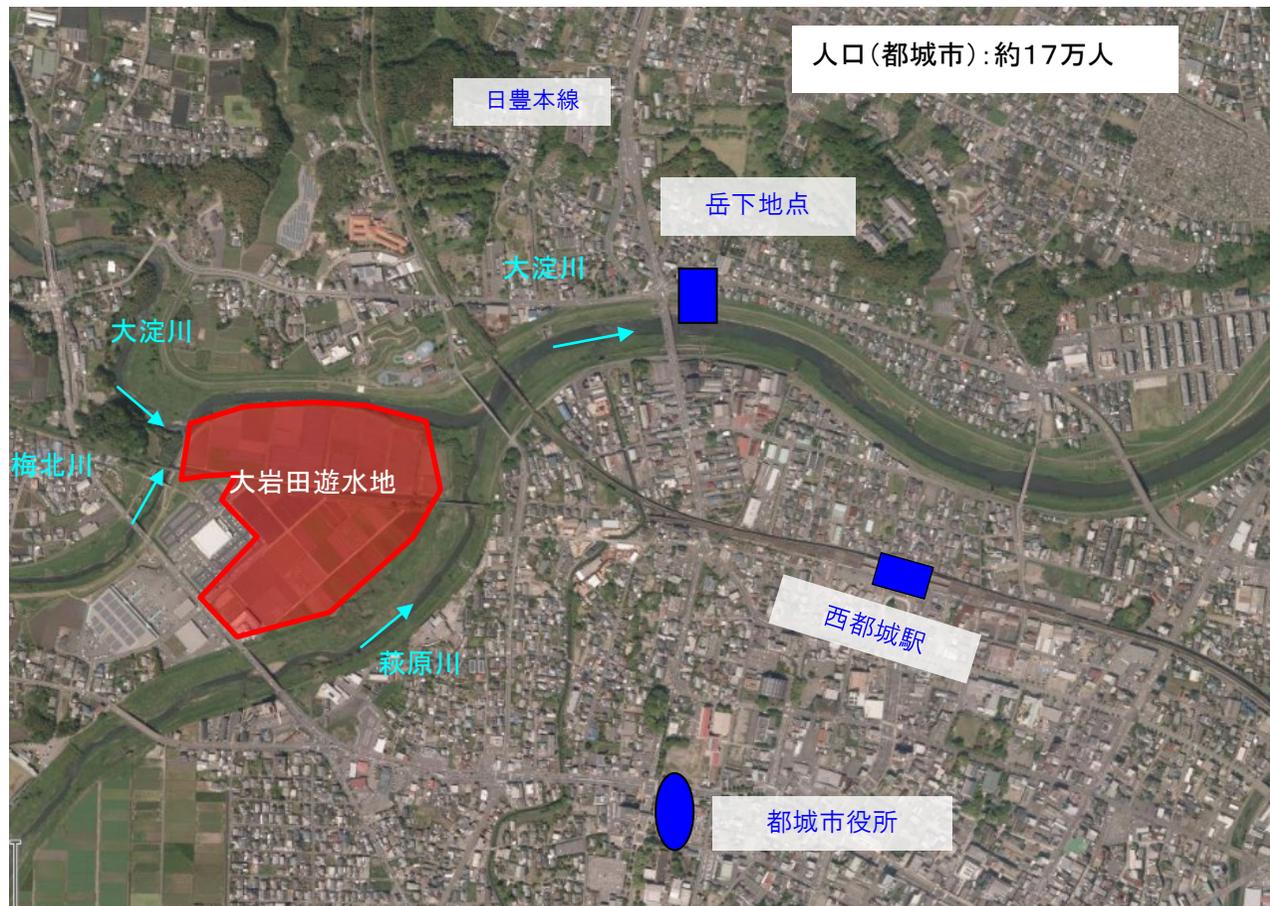
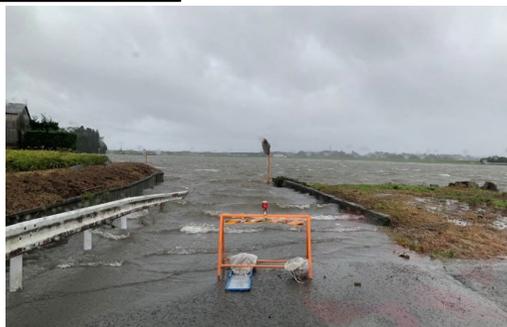


事業費：1,181百万円

※大淀川水系における直轄河川改修事業の令和5年度事業費を記載しております。

■ 令和5年度実施内容
用地取得 A=4.2ha

台風14号浸水被害



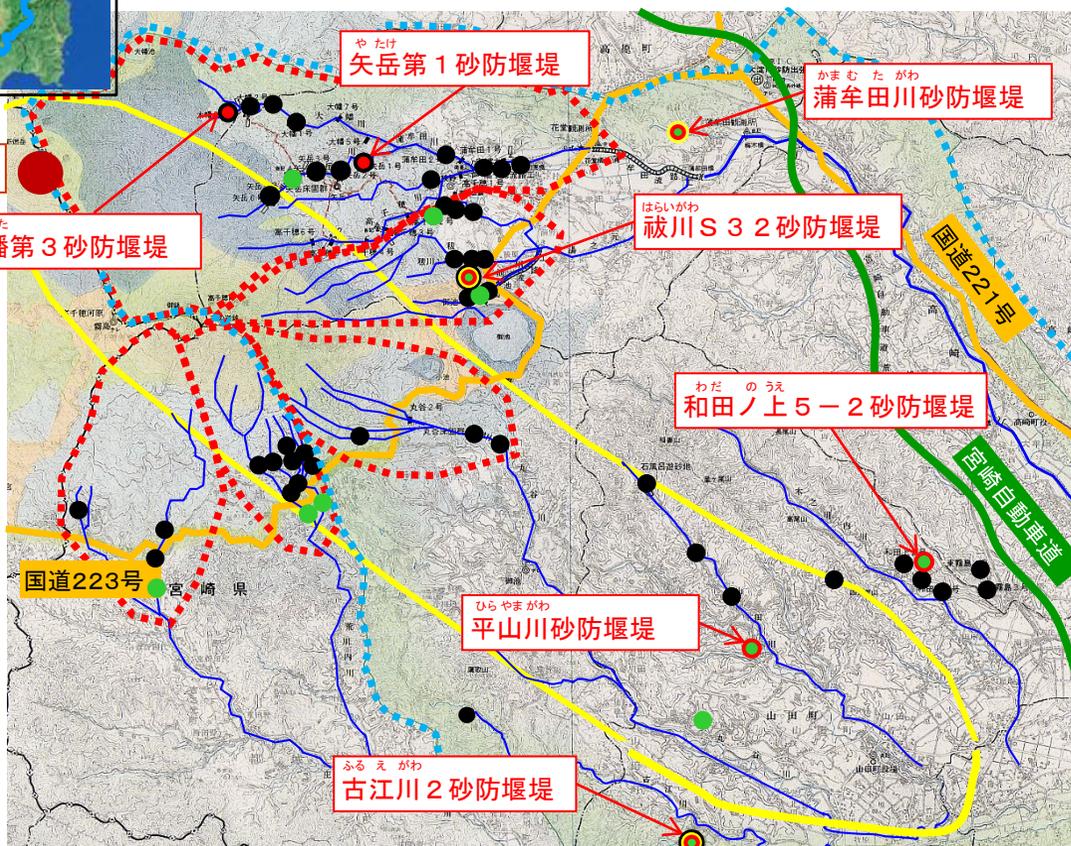
■大淀川水系直轄砂防事業(宮崎県西諸県郡高原町、都城市)

○高崎川上流域の大幡川、矢岳川、高千穂川は火山地帯に位置し、地質的にも新しいため、ガリー浸食の発達が著しく、多量の不安定の供給源となっている。また、平成23年1月19日の新燃岳の爆発的噴火に伴う降灰により、土石流の発生の危険性が高まっていることから、砂防設備を整備し、下流河川の河床上昇に伴う洪水被害及び人家、公共施設等に対する直接的な土砂災害を防止する。

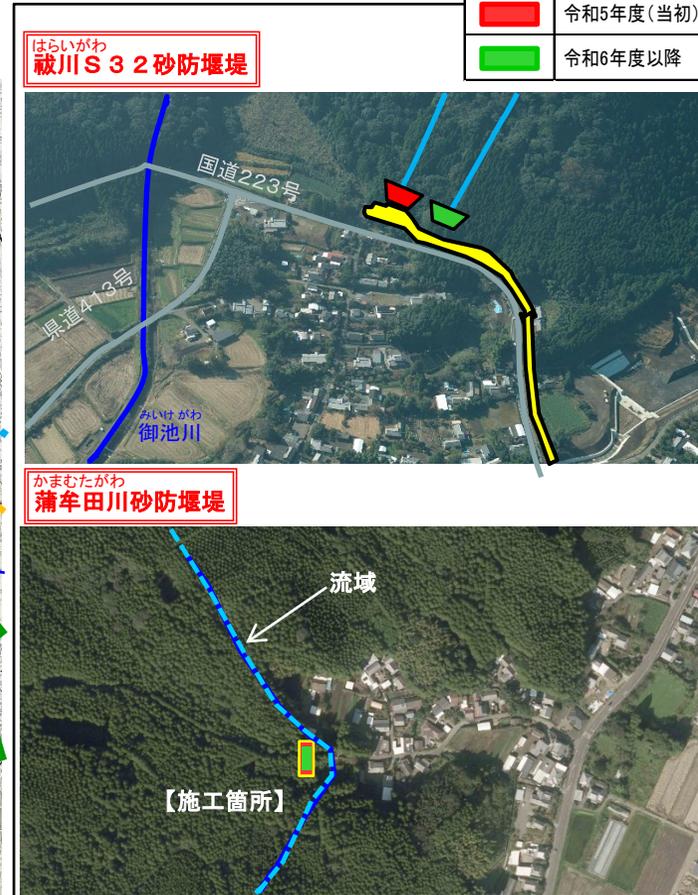
【位置図】



令和5年度
実施内容：砂防堰堤工、工事用道路等



■代表実施箇所



凡例

	令和3年度以前
	令和4年度(当初)
	令和4年度(補正)
	令和5年度(当初)
	令和6年度以降

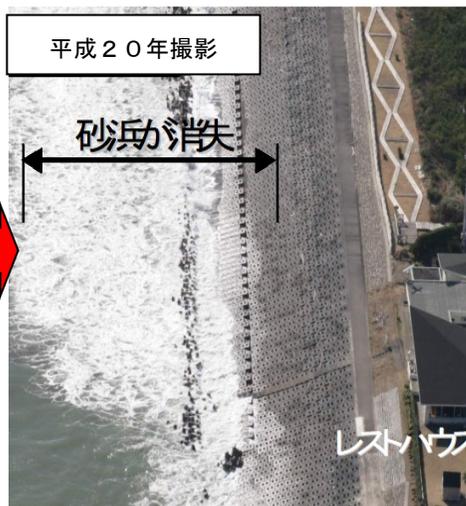
宮崎海岸直轄海岸保全施設整備事業(宮崎市)

- 宮崎海岸は約50年間で平均約65m(最大94m)の砂浜が侵食され、一ツ葉有料道路目前まで浜崖が迫っており、人家や重要幹線道路への越波など、地域経済への影響は甚大となるおそれがある。
- 波浪による侵食防止対策として、関係機関と連携し、海岸保全施設の整備を実施。

位置図



長期的な地形変化



短期的な地形変化



- 令和4年度迄
- 令和5年度
- 令和6年度以降

※養浜：海岸に人工的に砂を投入し、砂浜を養うこと。

令和5年度
実施内容：養浜等

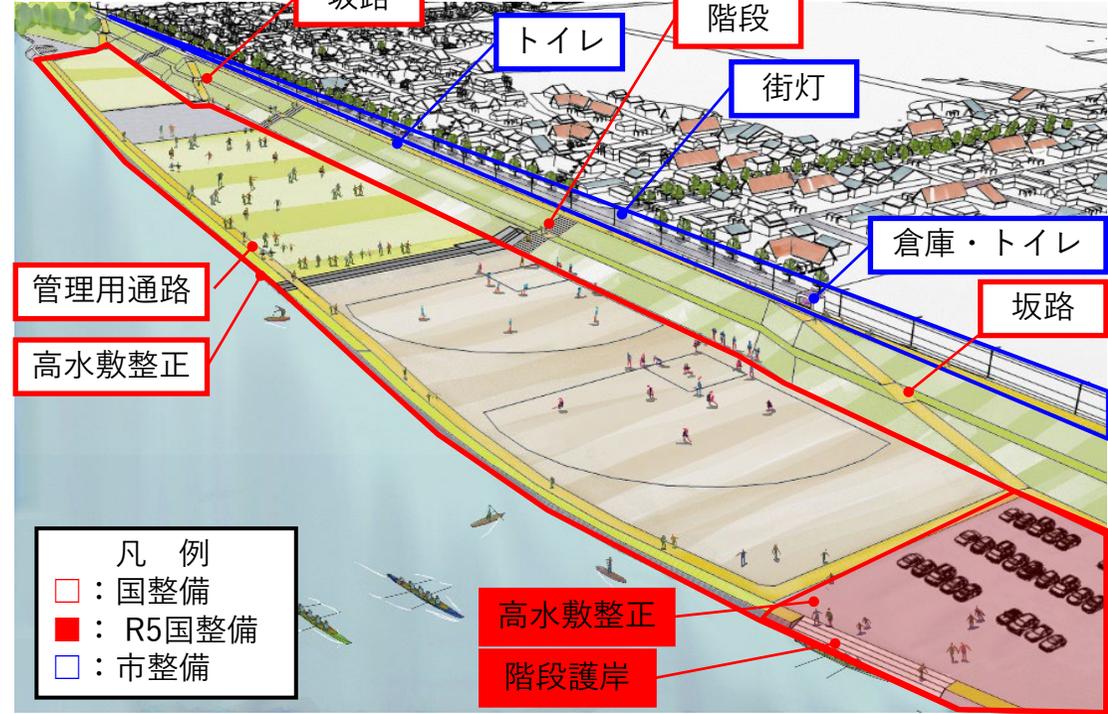


- 流域の5市町が連携・協働し、水系一体でのかわまちづくりが令和3年3月に変更登録され、地域資源・場の特徴を活かした地域活性化の取り組みを進めている。
- 天辰地区では、薩摩川内市のまちづくりと川内川を連携させることで、レガッタをはじめとするスポーツやイベントによる賑わいのある河川空間を創出し、地域の活性化を図る。

【位置図】



【整備イメージ】



- 凡例
- : 国整備
 - : R5国整備
 - : 市整備



事業費：126百万円※

※川内川水系における総合環境整備事業の令和5年度事業費を記載しております。

令和5年度実施内容
 高水敷整正、階段護岸



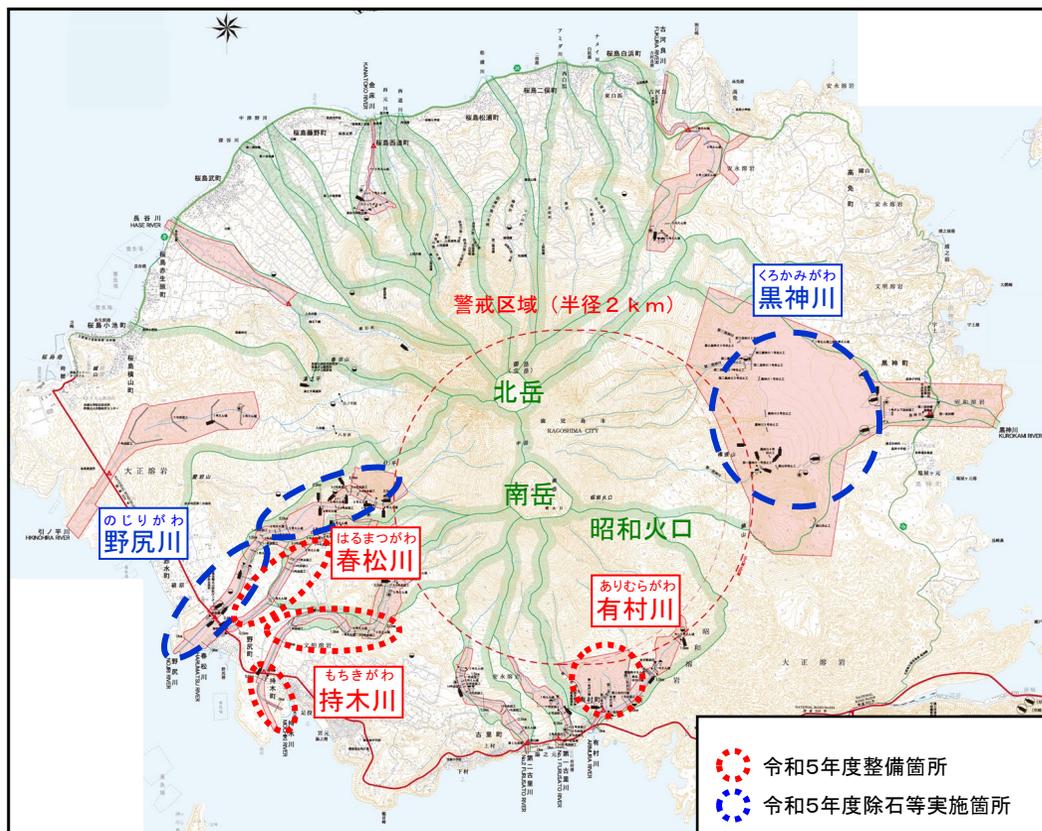
桜島直轄火山砂防事業(鹿児島市)

○桜島は、活発な噴火活動が継続しており、多量の降灰により降雨時に土石流が頻発。土石流による被害を防止するため持木川等において砂防施設を整備。

○土石流が頻発している2溪流(野尻川、黒神川)については、砂防設備の適正な管理・維持のため除石等を実施。

令和5年度

実施内容：砂防堰堤工(補修・補強)、溪流保全工、除石工等



春松川の砂防設備状況



野尻川河口付近の土砂堆積

除石後

野尻川の除石状況